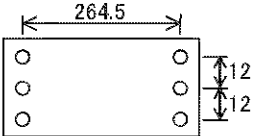


KOIZUMI セラミックメタルハライドランプ安定器(電子式)

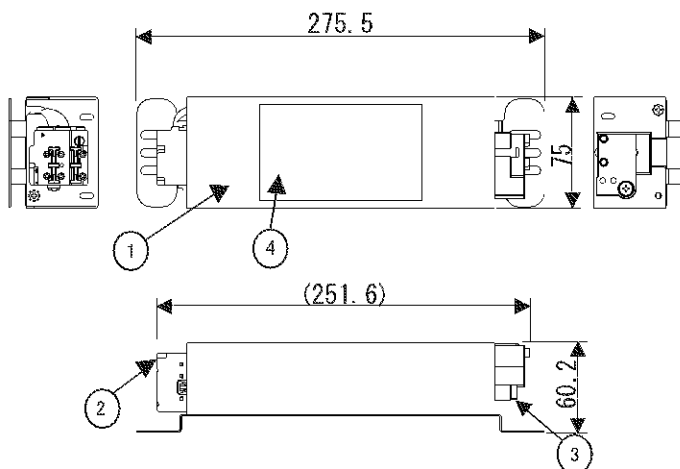
施工説明書

製品概要

型番	AEN 690 150	AEN 690 075
電源電圧	100~242V	
電源周波数	50 / 60 Hz共用	
パルス特性	4. 0~5. 0 kV	
適合ランプ (別売)	セラメタプレミアS 100W HCI-TE 100W	CDM-T 150W CDM-TD 150W MT150(F)CE
最大寸法	長さ275.5×巾75×高さ60.2mm	
質量	1. 0kg	
電圧変動範囲	定格値±6%	
使用周囲温度	0~40℃	
管灯回路配線長	5mまで	
取付寸法		

上表の使用条件を守って使用してください。
間違えると安定器の故障等の原因となります。
適合ランプはW数によって異なります。ご注意ください。

各部の名称



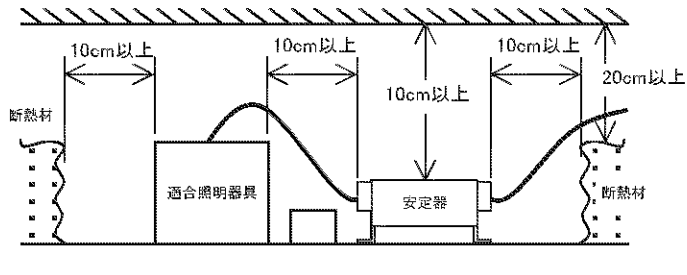
No	名称	No	名称
①	安定器本体	③	ランプ(器具)用連結端子(黒)
②	電源及びアース用連結端子(白)	④	銘板

付属部品

- なし

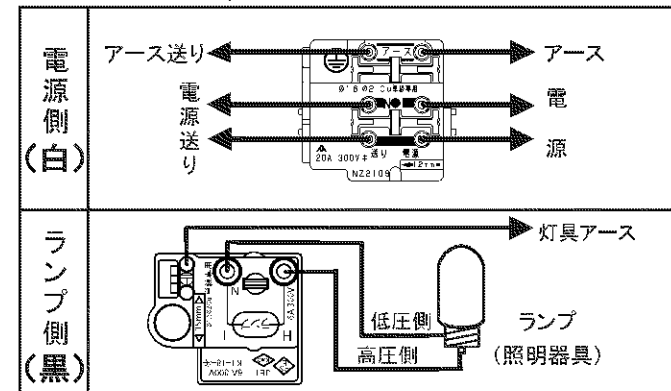
設置方法

- この安定器は“屋内用”です。それ以外のところ(屋外、屋側)では使用しないでください。
- 周囲温度: 0~40℃、周囲湿度: 35~85%でご使用ください。安定器の故障の原因となります。
- 安定器を2台以上並べて設置する場合、相互の熱の影響を受けますので、安定器の幅以上の間隔をあけて風通に注意してください。
- 安定器を箱の中に収納する場合には、容積を充分大きくとってください。また、換気をして安定器を加熱しないように注意してください。
- 安定器は下記を参考に適合照明器具より10cm以上を離してください。
- 断熱材・防音材があるときは、これらが安定器の放熱を妨げないようにするため、下記を参考に設置してください。配線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
- 安定器ケースの接地は入力側連結端子のアースより確保してください。
- 安定器は音響線・アンテナ線・アース線(本製品のアース線を除く)等から1m以上離してください。
- 安定器の4隅をM3またはM4ネジにて、水平な面に取付けてください。
- 取付前に安定器の重量に耐えられるよう、取付部の強度を確認してください。



配線図

- 下図を参考に配線してください。

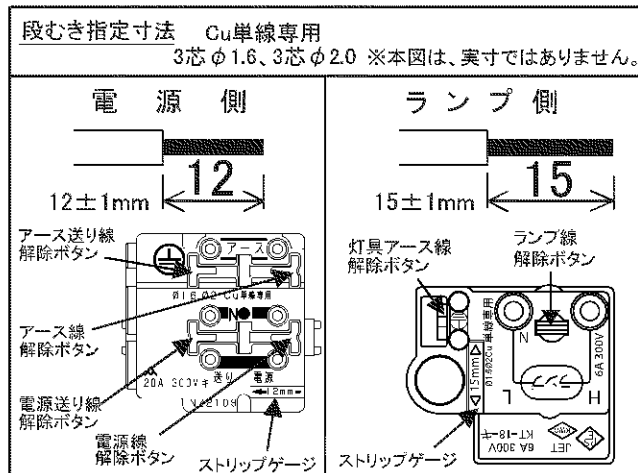


配線上のご注意

- 電源側、ランプ側を「銘板」にてご確認の上、配線を行ってください。入出力線の誤結線により安定器が故障します。
- 低圧側に高圧パルスは重畳されませんが、開放電圧がかかる旨ご注意ください。
- ランプと安定器間の管灯回路配線長は、パルス減衰を考慮し、“製品概要”の表の値以内としてください。(この長さを超えますとパルスの減衰によりランプが始動しない場合があります。)
- ランプと安定器間の管灯回路配線長は、ノイズの影響を考慮し、“製品概要”の表の値以内としてください。(この長さを超えますと周囲の電気製品に誤動作等の影響を及ぼすことがあります。)
- 電源側アースの接地は、必ず行ってください。
- 出力側アースと器具アースとの接続は、必ず行ってください。
- 安定器と適合照明器具との電線長さは、5mまでとしてください。
- 電源線と出力線は近接して配線しないでください。

接続方法

- 屋内配線は、適合電線をご使用ください。
- 屋内配線には、600V 0.75mm²Vビニル絶縁電線と同等以上の絶縁性能・配線容量をもつ電線を使用してください。漏電・感電・火災等の原因となります。
- 安定器の連結端子の配線は、3芯のφ1.6単線またはφ2.0単線の電線を使用してください。
- 3芯線の並びは H(高圧側)、L(低圧側)、N(接地)の順に使用し、各線を交差させたりしないでください。
- 屋内配線は、指定の長さ(電源側12±1mm、ランプ側15±1mm)に段むきしてください。連結端子のストリップゲージを利用してむきしるを決めてください。



- 電線を接続する場合、ゆるみ・抜けのないように確実に接続してください。接続部の焼損や火災等の原因となります。
- 屋内配線は、連結端子の挿入面に対し、直角に奥まで確実に差し込んでください。(一度引っ張り、接続の確認をお願い致します。)
- 取付後、絶縁抵抗を測定してください。規定値より低いと漏電・感電・火災等の原因となります。100V用で0.1MΩ、200V用で0.2MΩ以上必要です。
- 屋内配線を外す場合は、必ず電源を切り、端子台の解除ボタンをドライバー等で押して電線を引き抜いてください。

使用上のご注意

- 漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。漏電ブレーカの誤作動の原因となります。
 - 1) ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
 - 2) 単相3線200Vで片切スイッチを使用する場合は、片切スイッチによる消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
- 器具・安定器にものを載せたり、覆ったりしないでください。
- 器具は必ず適合照明器具に適合ランプでご使用ください。
- 製品概要に記載された電源電圧(変動範囲内)・周波数以外の電源で使用しないでください。安定器・ランプの短寿命の原因となります。
- 点灯(放電)開始後完全に点灯するまで数分かかります。
- ランプを点灯させる為、高圧パルスがかかります。点灯後、高圧パルスは停止します。(ランプ脱着時は、大変危険ですので、必ず電源を切ってから作業を行ってください。)
- ランプ交換やお手入れの時は、必ず電源を切ってください。
- 点灯中や消灯直後は、ランプ及び器具が高温ですのでご注意ください。
- 連続点灯の場合でも、一週間に一度は消灯してください。ランプ寿命末期の各種不具合(ランプ破損・器具焼損等)を防止する為です。
- 急激な電源電圧の変動により立ち消え(点灯しているランプが消える状態)が発生する場合があります。
- 落雷などによる瞬時的停電の場合は、電源復帰後自動的にパルスが発振しランプが再始動します。ただし、ランプが充分冷めていない場合は若干の時間が必要となるため、すぐに点灯しない場合があります。その場合は、電源を入れたまま放置してください。
- ランプが点灯するまで約30分間欠的に高圧パルスを発生させています。通電開始後、30分間経過しても点灯しない場合は、一度電源を切り、10秒以上経ってから再投入してください。再投入後、30分間経過しても点灯しない場合は、ランプを確認する必要があります。
- 消灯直後に再点灯しようとする場合は、スイッチは約10秒以上経過後に入れてください。尚、スイッチを入れた後再点灯するには、ランプ温度を下げる必要があるため5~15分かかります。(適合照明器具の種類や取付環境により異なります。)
- 長期間不点灯状態を放置されますと、度重なる高圧パルスにより不点灯器具の管灯回路・パルス発振回路・器具等の故障が発生します。早急に保守してください。
- ランプの寿命により、不点灯・立ち消え・チラツキ等が起こることがあります。このような場合は、電源を切り、早急にランプをチェック又は交換を行ってください。
- 器具・安定器の改造や部品の追加は、絶対に行わないでください。
- 使用中に異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、工事店・電器店にご連絡ください。